

2020 阿波おどりチケットについて

1 概要

収支予測も踏まえて適切なチケット料金の改定を行うとともに、団体販売の強化によりチケット販売率の向上を目指す。

2 評価委員会からの提言

(1) チケット料金

魅力のあるプログラム構成と連動して適正な価格設定を行うことが望ましいと考えます。あわせて、運営上課題と考えられた座席割の変更や新規席種の設定を行うことで、団体・一般それぞれの販売率向上につながると考えます。また、今年度の阿波おどり事業が台風の影響により二日間公演中止となったとはいえ、収支均衡については依然厳しい状況にあることから、安定的に事業を行うために、収支状況も踏まえた適正な価格設定についても検討する必要があると考えます。

(2) 販売方法

新規来場者の獲得につながる団体向けチケット販売を促進することとし、旅行エージェントを中心に要望の強い、販売スケジュールの前倒しを行うほか、すべての方に対して、チケットをより購入しやすい環境づくりが必要と考えます。

3 運営協議会の意見

(1) チケット料金

① 適切な料金設定を求める意見

- 有料観客席の内、大多数が県外の観光客の S・A 席の料金はもっと上げる一方で、C 席は 500 円（ワンコイン）に値下げの検討が必要。
- 前夜祭の特別指定席の値段はもう少し高くできるのではないかと。
- 料金設定に緩急が必要。
- チケット料金を下げることが販売促進につながるとは思わないので、むしろダイナミックプライシングを導入して、早期予約は安く、人気の席は高くなど、メリハリを効かせたほうが良い。
- 発券手数料を代金の中に含ませる。

- 料金については、提案額でいいのではないか。
- チケット料金の適正化は必要である。地元の人が気軽に何日でも見に来られるような工夫がいる。県外から一度だけ見に来る者と分けることも必要。
- 演舞場ごとに、特色のある演出プログラムを充実し、多様な料金体系の実現と弾力的に販売することでチケット販売率の向上を図る。

② 現状維持を求める意見

- 料金は現状のままでよい。

(2) 販売スケジュール

- 販売スケジュールは、6月1日から販売開始。
- 販売時期の早期化・早期割引の実施。
- 販売スケジュールはできるだけ早く。
- 団体販売は早期販売をして、制約は最小限にした方がよい。
- 販売スケジュールで、団体販売に関してはできる限り前倒しとすることが望ましく、2月申込開始となるのであればAGT各社に対するアナウンスは、前年秋頃にはすべきと考える。

(3) 販売方法

- 販売方法は、5か所ほどで販売するのが望ましい。
- 今年の徳島市内の対面販売所はわかりにくく、さらに当初は椅子すらなかったので、来年は最初から“客にやさしい販売所”に。
- 販売方法は、ネット、手売りをミックスで。一般の人にわかりやすくする。
- ネットの時代だからこそ、フェイス to フェイスの販売をもっと増やすべき。
- 対面販売の窓口を増やしてはどうか。
- 対面販売は立ち寄りやすい（市役所1階など）の場を検討して欲しい。
- 当日券の販売場所・販売席・枚数がわかるようにHPなどで告知が必要。
- 栈敷に空席が目立った。売れ残りが多くあるのであれば、当日券販売所を目立つところに多く設置し売り出せばよいのでは。
- 団体チケットを販売する際にバス駐車場の空き状況等を勘案しながら販売して欲しい。
- 事前に旅行会社以外でチケット購入希望者を集約できる企業や団体にも大口申し込みの受付をしてはどうか。
- 団体販売については、期間を設けて無手数料にてキャンセルできるように検討すればどうか。

4 各課題への対応方針

(1) チケット料金

① 座席割の再検討

現在の座席割は、前夜祭、有料演舞場ともに最も踊り手に近い前列の席が高額な設定となっていないため、座席割を見直すこととしたい。

② 適切な料金設定

評価委員会の提言や運営協議会の意見にもあるとおり、阿波おどりを安定的に運営するためには、各公演について適切な料金設定を行うことが必要である。

特に有料演舞場はS席（指定席）の販売率が72%であるのに対し、C席（自由席）は40%に留まっていることから、メリハリのある価格設定が重要である。

③ 新規席種の設定

評価委員会や運営協議会からはVIP席やアメニティなど、新たな席種やサービスを求める意見が出されているため、藍場浜演舞場に新設する特別席をVIP席とするほか、ドリンクバーがセットになったチケットを新たに造成したい。

④ 団体割引の導入

チケット販売率のアップには団体販売の強化が必要不可欠であり、評価委員会や運営協議会からも団体販売強化に向けた意見が多数寄せられているため、一定枚数以上の団体販売には団体割引を導入したい。

⑤ 発券手数料の取扱い

発券手数料をチケット料金に含めて欲しいという意見が運営協議会から出されているが、発券手数料は興行主ではなく、発券作業を行った各店舗の収入であることから、興行主側でコントロールすることができない。

ただし、今後、販売強化を目指す団体販売と、高齢者の利用が多いと思われる対面販売の発券手数料は事業体負担とし、お客様はチケット代金のみの支払いとする（団体販売は別途チケット送料が必要）。

⑥ 徳島県民への優待措置

徳島県民が主な利用客となる対面販売所については、お客様の発券手数料負担をなくすことで金銭的負担を軽減する。

また、今年度は台風で実現に至らなかったが市内（県内）小学生の無料招待も、チケット販売状況に合わせて実施を検討したい。

(2) 販売方法

① 販売スケジュール

特に団体販売については、これまでの販売開始が遅すぎるという指摘を多方面からいただいているため、予定通り 1 月中に事業体の事業計画が承認されれば、2 月から販売を開始したい。

② 対面販売の充実

対面販売所はネットやコンビニでの購入方法が分からないといったお客様に好評をいただいたが、限られたスタッフ数で対応することから発券処理に時間がかかるといった問題もある。

特に臨時的に販売台数を増設したり、より買い求めやすい場所で販売したりといった対応について検討を行いたい。

③ キャンセル規定の導入

ア 団体販売

団体販売については、旅行エージェントがツアー商品を造成し、販売した結果によって枚数を確定したいという要望が多いことから、仮確定後に一定のキャンセル期間を設定したい。

イ 一般販売

一般販売について、今年度は公演中止以外によるキャンセル・払い戻しは一切不可という運用を行っており、それは他の興行のチケットでも同様であるため、来年度も基本的に同じ運用としたい。

お客様都合のキャンセル(天候不良による来場不可を含む)への払い戻しは、事業体の負担が大きく無条件での対応は難しいため、払い戻し保険などの提案・案内といった付帯サービスでケアできないか検討する。

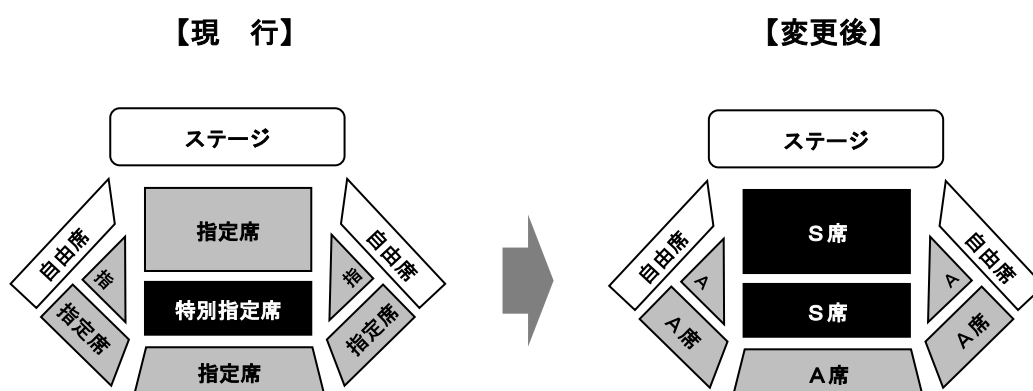
5 チケットに関する見直し案

(1) 座席割の変更

① 前夜祭

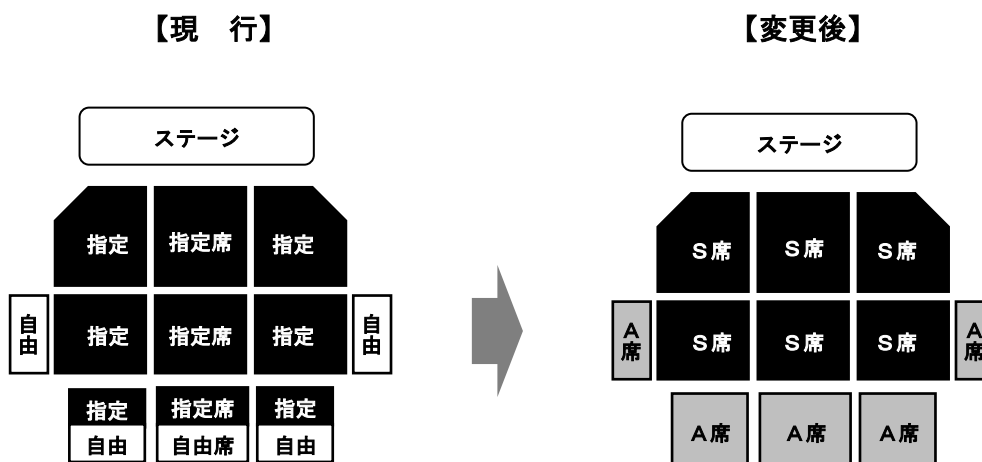
現在は最前列の席が最も高額な設定となっていないため、指定席の席割について、舞台前方の中央ブロック指定席と現行の特別指定席をS席、2階スタンド指定席をA席とし、価格差をつけた指定席とする。

なお、サイドブロックの自由席は引き続き設置する。



② 選抜阿波おどり

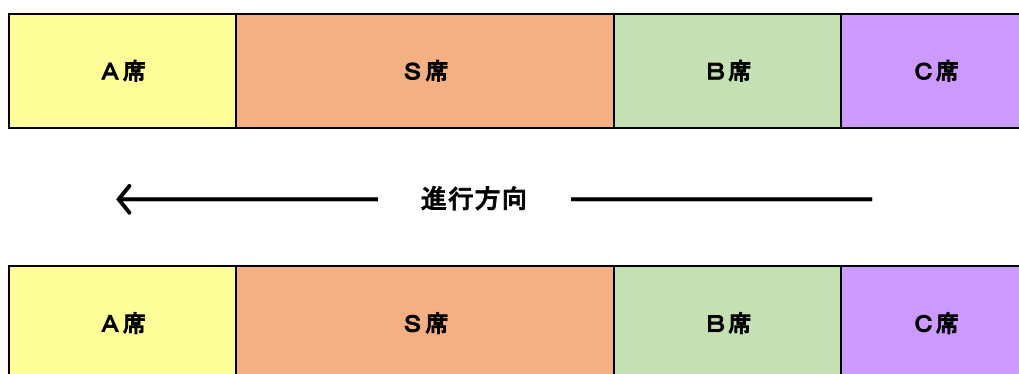
運営上の観点から、自由席を廃止し、前方をS席（指定席）、後方をA席（指定席）へと変更する。



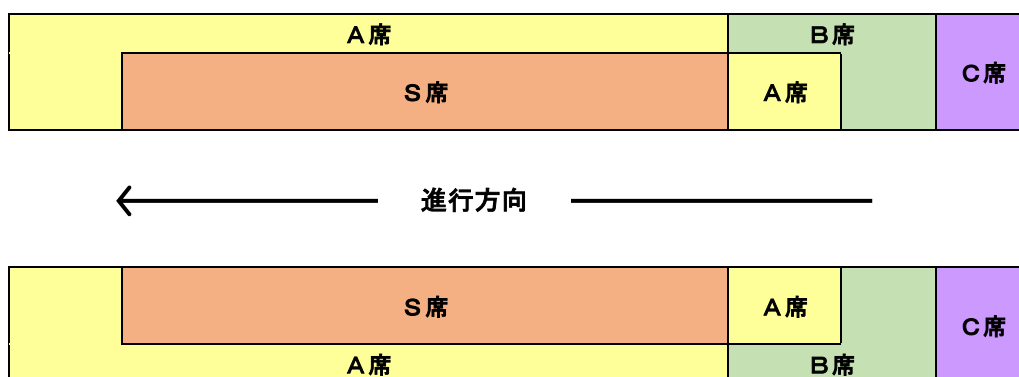
③ 有料演舞場

現在は入口から順にC席、B席、S席、A席という並びだが、踊り手がより近く、臨場感が味わえる前方を値段の高いS席とし、後方をA席又はB席とする。

【現 行】



【変更後】



(2) 料金表 (案)

2020 阿波おどりチケットの料金は、団体割引の導入や発券手数料の免除、消費税による経費増などを踏まえて、1 枚 200 円の値上げを基本とする。

なお、選抜阿波おどりの A 席は前年度までの自由席を指定席へ変更するため 800 円アップとし、有料演舞場の S 席は販売率を踏まえて 400 円アップとする。

その一方、有料演舞場の B 席、C 席は販売率を踏まえて価格を据え置く。

また、前売りチケットの購入促進を図るため、当日料金は現行の 200 円増から藍場浜特別席を除く全席種にて前売り料金の 500 円増へと見直したい。

区分		前売り料金	当日料金	
前夜祭	指定席	S 席	3,800 円 (3,600 円)	4,300 円 (3,800 円)
		A 席	3,200 円 (3,000 円)	3,700 円 (3,200 円)
	自由席		2,000 円 (1,800 円)	2,500 円 (2,000 円)
選抜阿波おどり	指定席	S 席	3,000 円 (2,800 円)	3,500 円 (3,000 円)
		A 席	2,400 円 (1,600 円)	2,900 円 (1,800 円)
有料演舞場 (通常)	指定席	藍場浜特別席	8,000~15,000 円 (設定なし)	前売り料金+1,000 円 (設定なし)
		南内町特別席	4,600 円 (5,000 円)	5,100 円 (5,200 円)
		S 席	2,400 円 (2,000 円)	2,900 円 (2,200 円)
		A 席	2,000 円 (1,800 円)	2,500 円 (2,000 円)
		B 席	1,600 円 (1,600 円)	2,100 円 (1,800 円)
	自由席	C 席	800 円 (800 円)	1,300 円 (1,000 円)
有料演舞場 (藍場浜・2 部) プラチナステージ	指定席	藍場浜特別席	9,000~16,000 円 (設定なし)	前売り料金+1,000 円 (設定なし)
		S 席	3,000 円 (2,600 円)	3,500 円 (2,800 円)
		A 席	2,500 円 (2,300 円)	3,000 円 (2,500 円)
		B 席	2,000 円 (2,000 円)	2,500 円 (2,200 円)
	自由席	C 席	1,000 円 (1,000 円)	1,500 円 (1,200 円)

注 1) () 書きは 2019 阿波おどりの料金。

注 2) 各公演 1 回の観覧料 (税込み)

注 3) 特別席は藍場浜、南内町のみ。なお、南内町特別席の特典グッズは廃止する。

注 4) チケット発券手数料 110 円/枚が別途必要 (団体販売及び対面販売は無料。)

注 5) 3 歳以上は有料 (3 歳未満は無料。ただし、膝の上で抱いていただく。)

注 6) 100 枚以上の団体購入は定価から 5%割引とする。

【藍場浜演舞場特別席について】

藍場浜演舞場の魅力向上と魅力ある客席作りによる新たな顧客獲得に向けて、南内町演舞場同様に出口付近に踊りを正面から観覧できる特別席の新設を検討している。なお、座席環境や付帯サービスの提供などを盛り込めれば、それに対応した金額設定での販売を目指す。

(3) 販売方法

① 前売り券

ア 販売チャネル

- i 先行販売(藍場浜、南内町演舞場の特別席のみ)
インターネット販売のみ
- ii 一般販売
全国のコンビニエンスストア、インターネット、電話予約及び対面窓口による販売

イ 購入枚数(1回の申し込みで購入出来る枚数)

- i 有料演舞場 1公演 12枚まで
- ii 前夜祭、選抜阿波おどり 1公演 5枚まで

② 当日券

ア 販売チャネル

コンビニエンスストア、徳島駅前特設販売所(阿波おどり総合案内所)、各演舞場近くの特設売り場。前夜祭、選抜大会の当日券は各会場の窓口でも販売。

イ 購入枚数(1回の申し込みで購入出来る枚数)

- i 有料演舞場 1公演 12枚まで
- ii 前夜祭、選抜阿波おどり 1公演 5枚まで

③ 団体販売

団体販売の強化を図るため、販売スケジュールを次のとおり前倒しするとともに、確定月の翌月末までキャンセル期間を設ける。

(4) 購入サービスの充実

阿波おどりチケットセンターとチケットぴあ(いずれもWEB予約)では、前夜祭、選抜阿波おどり、有料演舞場の全公演で座席選択を可能とする。

また、これと連動して、前夜祭、選抜阿波おどり、有料演舞場の座席表をホームページ上にて開示予定である。

(5) 販売スケジュール

令和2年 1月	2020 阿波おどり事業計画決定
2月中	団体販売一次申込（3月中旬までに確定）
4月中	団体販売二次申込（5月中旬までに確定）
5月15日～	先行販売（特別席のみ）
6月上旬	一般販売開始
8月12～15日	当日発売

(6) その他

① 車いす用観覧チケット販売について

ア 設置場所

紺屋町演舞場（※ 市役所前演舞場が継続の場合は市役所前演舞場）

イ 座席数

車いす6台分（12名）（※ 市役所前演舞場が継続の場合は10台分）

ウ 入場料金

区分	前売り料金	当日料金
車いす1台当たり	1,000円	1,500円
付き添い	1,000円	1,500円

② 豪雨等中止の場合の払い戻し

ア 払戻期間

原則として中止日の翌日から1か月の間払い戻す。

イ 払戻方法

原則として購入したプレイガイドで払い戻すが、払戻方法はプレイガイドごとに異なるため、詳細はホームページ等にて記載する。

また、対面販売、団体販売、当日券についても、各プレイガイドへの郵送により対応する。

※ 一度購入されたチケットは、原則として豪雨等による公演中止以外、払い戻し及び交換は一切出来ないものとする。

6 収支シミュレーション

(1) 必要となるチケット料収入

次の表は市役所前演舞場を維持した場合（4 有料演舞場）と廃止した場合（3 有料演舞場）について、必要となるチケット料収入を算出したものである。

支出は 2019 阿波おどりの予算額をベースとしつつ、決算見込額を踏まえた経費増の状況や消費増税による負担増などを見込んでいる。

また、3 有料演舞場は、市役所前演舞場の設置に係る費用と観光バス乗車場の設置によるシャトルバス事業費の減額を見込むとともに、新たな支出として観光バス事業費を追加している。

なお、収入については、観光バス客がシャトルバスを利用しなくなるためシャトルバス収入の減少と市役所前演舞場に係る広告費の減少を見込む一方で、観光バス事業費による収入増を見込んでいる。

おおよその予測であるが、4 有料演舞場の場合は約 2 億 1,700 万円、3 有料演舞場の場合は約 1 億 9,000 万円のチケット料収入が必要と見込まれる。

(単位:千円)

項目		4 有料演舞場	3 有料演舞場
支出見込	有料演舞場事業費	132,419	100,154
	前夜祭・選抜阿波おどり事業費	33,000	33,000
	無料演舞場事業費	30,500	30,500
	にわか連事業費	8,500	8,500
	シャトルバス事業費	23,000	21,000
	総合案内所事業費	778	778
	観光バス事業費	—	7,160
	その他経費	35,000	35,000
	本部経費	30,021	30,021
	広告費	6,000	6,000
	固定納付金	5,000	5,000
	合計	304,218	277,133
	収入見込み (チケット収入を除く)	補助金	26,294
シャトルバス収入		6,700	4,700
広告料・協賛金等		54,110	48,651
観光バス収入		—	7,160
合計		87,104	86,805
必要となるチケット料収入		217,114	190,328

(2) 販売実績から見た有料演舞場の販売予測

12日、13日は今年度、14日、15日は前年度の販売実績をベースとして同じ枚数が売れると仮定すると、有料演舞場の販売枚数及び販売率は次のとおりとなる。

日程	4 有料演舞場			3 有料演舞場		
	座席数	販売枚数	販売率	座席数	販売枚数	販売率
12日	27,020	23,202	85.9%	21,266	20,683	97.3%
13日	27,020	19,480	72.1%	21,266	19,480	91.6%
14日	27,020	15,520	57.4%	21,266	15,520	73.0%
15日	27,020	11,843	43.8%	21,266	11,843	55.7%
計	108,080	70,045	64.8%	85,064	67,526	79.4%

(3) 販売率ごとに見た収支差額（前夜祭・選抜阿波おどりを含む）

(1)で算出した必要となるチケット料収入に対して、料金改定前と改定後、また、4有料演舞場と3有料演舞場のパターンで比較した収支差額は次のとおり。

料金改定後の3有料演舞場パターンであれば、現在の販売状況でも収支均衡を図ることが可能と見込まれる。

① 料金改定前

(単位：千円)

販売率	4 有料演舞場			3 有料演舞場		
	販売枚数	収入額	収支差額	販売枚数	収入額	収支差額
100%	127,533 枚	240,943	23,829	104,517 枚	199,155	8,827
90%	114,780 枚	216,849	265	94,065 枚	179,240	▲11,088
80%	102,026 枚	192,754	▲24,360	83,614 枚	159,324	▲31,004
70%	89,273 枚	168,660	▲48,454	73,162 枚	139,409	▲50,919
65%	82,896 枚	156,613	▲60,501	67,936 枚	129,451	▲60,877

② 料金改定後

(単位：千円)

販売率	4 有料演舞場			3 有料演舞場		
	販売枚数	収入額	収支差額	販売枚数	収入額	収支差額
100%	127,533 枚	282,776	65,662	104,517 枚	239,765	49,437
90%	114,780 枚	254,498	37,384	94,065 枚	215,789	25,461
80%	102,026 枚	226,221	9,107	83,614 枚	191,812	1,484
70%	89,273 枚	197,943	▲19,171	73,162 枚	167,836	▲22,492
65%	82,896 枚	183,804	▲33,310	67,936 枚	155,847	▲34,481